

平成 31 年度 古賀市男女共同参画計画実施状況報告書（30 年度事業分）

審議委員からの質問

	基本目標	基本方針	NO	担当課	質問内容
P4	I	1	5	生涯学習推進課	シニア向け講座などが、男女共同参画に関連しているのか。
回答	ここでのコスモス市民講座は、性差に関係なく、高度情報化に対応していく知識や技術を身につけて、情報化の進展に主体的に対応できる能力の育成に努めました。今後は、さらに男女平等の意識の啓発に繋がるような工夫を盛り込みたいと考えます。				
P4	I	1	8	学校教育課	性に関する講演会で古賀中学校の保護者の参加が5人と少ないのは、どうしてだろうか。
回答	周知が不十分であった。1 日オープンスクール（授業参観等）で保護者の来校時間が決まっていなかった中で講演会を開催したため、来場者が少なかったと考えられる。また、保護者の来校時間やニーズが分散したと考えられる。				
P5	I	2	9	コミュニティ推進課	利用者の多い JR 古賀駅で、男女共同参画特別展示を検討してほしい。
回答	JR 古賀駅での展示については、一事業につき最大 A2 サイズと決められていることから、A2 サイズでの男女共同参画展示を検討したい。				
P5	I	2	10	生涯学習推進課	分館教養学級における学習計画の具体的な内容は。
回答	分館教養学級の年 8 回以上の学習計画の中に、男女共同参画をテーマとした学習や活動を 1 回以上取り入れるよう依頼しています。平成 30 年度実績は、学級単位での男女共同参画フォーラムへの参加ほか、男女がともに学ぶ「減塩料理教室」「防災教室」、また男性を対象とした「男のための料理教室」などの、実践的な学習が展開されました。				

P5	I	2	11	コミュニティ推進課	標語の応募数などのデータの提供や、作品の出来栄への向上などを学校に伝え、児童期からの男女平等意識、人権意識の向上につながっていることを学校と連携しながら、効果的な啓発を継続してほしい。
回答	校長会にて、応募状況（作品総数、応募者総数）や、最優秀賞作品5作品、優秀賞25作品を示しています。				
P6	II	1	17	人事課	① 男性の育児休業取得者1名は、該当者（妻が出産した男性）での比率は。 ② 育児休業UPに向けての取組みが見えない。行政が率先して実施する必要があるのではないか。
回答	① 該当者11名で、比率は9%です。 ② 育児中の男性職員が取得できる休暇制度を取りまとめたチラシを作成し、グループウェア（ファイル管理）へ掲載することで、制度周知を図りました。また、男性職員からの扶養親族の申請等により、子が出生したと把握できた時には、その申請書の提出時点で先述チラシをお示し、育児休業の取得を促しました。				
P9	II	1	28	介護支援課	認知症サポート養成講座は、小・中・大人・高齢者まで、学ぶことができる重要な学習の機会である。古賀の独自の取り組みですか。高校、大学まで拡大できませんか。
回答	認知症サポーター養成講座は、国の「認知症施策推進大綱」における普及啓発のひとつの取組として全国の自治体で実践されています。本市の特徴的な取組として、毎年、市内全小・中学校において講座を開催しております。また、高校・大学での講座については、現在未実施ですが、ひとりでも多くの認知症サポーターを養成するため実施に向けて検討していきます。				
P9	II	4	31	コミュニティ推進課	地域女性リーダーの参加者による、伝達講習あるいは市報の掲載はありましたか。
回答	市の広報での掲載はしていませんが、6月に開催される古賀市男女共同参画フォーラムの展示パネルにて報告等の掲載をしました。				

P10	Ⅲ	1	33	子育て支援課	「子育て世代包括支援センター」の開設について説明してください。
回答	子育て世代包括支援センターは、母子保健法に基づき市区町村に設置することが努力義務とされているものです。古賀市では、妊娠期から乳幼児期（子育て期）にわたる切れ目ない支援のために、保健師や助産師等の専門職を配置して、「母子保健事業」と「子育て支援事業」を一体的に支援していきます。				
P10	Ⅲ	1	36	商工政策課	訪問事業所の発掘、事業所側からの手上げ、両方がなされていないのでは？PR方法や訪問までのシステムが見えない。
回答	平成30年度は古賀市商工会建設部会に働きかけを行い、会員対象の男女共同参画講座としてワーク・ライフ・バランスやハラスメントについて講座を行った。訪問という手法ではなかったことから、0件としているが、今後も多様な手法で啓発等に努めたい。				
P11	Ⅲ	1	40	介護支援課	介護予防サポーターの登録者数の男女比を教えてください。
回答	男性 24% ・ 女性 76%				
P12	Ⅲ	2	43	予防健診課 生涯学習推進課	男性の健康自立を進める工夫はどのようにしましたか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を男性に限ってはおりませんが、取組として、健康相談、出前講座や健康測定会等のほか、食生活改善推進会の活動でも生活習慣病予防の食事づくり等の講座を実施しており、その中には男性の参加もあり健康意識向上を通して健康自立にもつながっていると考えています。（予防健診課） ・コスモス市民講座は、実践型の学習手法をとっており、男性を対象とした講座においても、学んだことを家庭生活や地域で活かしていただくようしっかり伝えながら実施しています。検診受診勧奨、健康自立に繋がるイベント等があれば、資料を配布し、併せて紹介するなど意欲が途切れないよう配慮をしました。（生涯学習推進課） 				
P13	Ⅲ	2	43	子育て支援課	性教育の実施。古賀北中学校だけ未実施なのは、どんな理由ですか。
回答	平成30年度は、日程等の関係で性教育を単独で実施することが難しい状況でしたが、人権擁護委員によるデートDV防止教室に合わせて性教育も取り入れながら実施しました。今年度（令和元年度）は実施する予定です。				

P13	III	2	45	コミュニティ推進課	デート DV 講座を玄界高校でも実施してほしい。
回答	玄界高等学校につきましては、3年に一度全学年を対象に「デート DV 講座」を実施しています。				
P16	IV	1	49	コミュニティ推進課 子育て支援課	講演会の際に性暴力被害支援センターのチラシは配布しましたか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象にしている性教育では、チラシ配布は実施しておりません。(子育て支援課) ・性暴力被害支援センターのチラシは配布していませんが、「デート DV 講座」では、福岡県が作成した相談窓口 (STOP DV) が記載されているカードを福岡女学院看護大学に配布しています。(コミュニティ推進課) 				

【全体的】

質問内容	担当課	回答
講座参加者の男女比について	人権センター	別紙のとおり (資料4)
子育て応援宣言企業の具体的な取組は？	コミュニティ推進課	<p>福岡県の事業です。企業・事業所のトップの方が、従業員と仕事との両立を支援するために具体的な取組まれることを宣言します。</p> <p>例えば、育児休業が取得しやすい環境づくり、円滑な職場復帰に向けたサポートの実施など</p>